台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

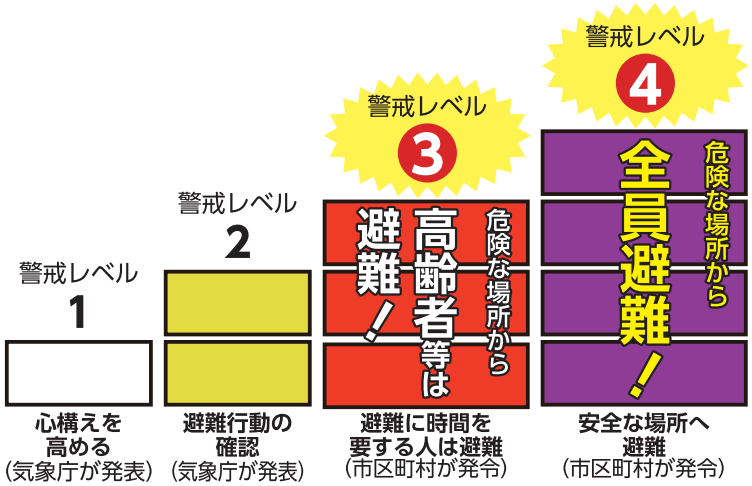
避難情報のポイント

市区町村から出される避難情報（警戒レベル）

避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

危険な場所から警戒レベル３で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル４までに〈全員避難※1〉です。

※１警戒レベル４「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル４避難指示までに危険な場所から避難です

警戒レベル５はすでに災害が発生・切迫している状況です。

・警戒レベル５は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
・警戒レベル５緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
・ただし、警戒レベル５は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル４までに危険な場所から全員避難！

・警戒レベル４避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル３は高齢者だけの情報ではありません。

・警戒レベル３は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始するタイミングです。
・それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

避難情報のポイント解説　もっと詳しく知りたい人向け

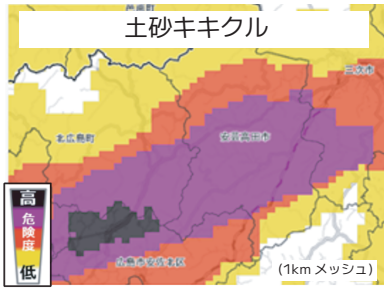
国土交通省・気象庁・都道府県から出される河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

■キキクルで、お住まいの地域の状況を確認しましょう

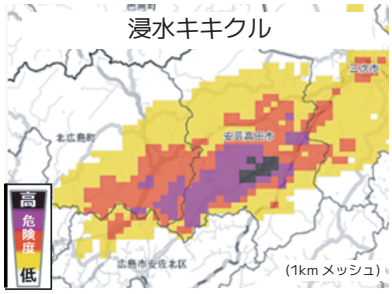
気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報※が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル」を確認してください。 紫の段階では、既に災害のおそれが高まっている状況です。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「キキクルの通知サービス」もありますので、ご活用ください。

キキクル　検索



崖・渓流の近くは危険



低地は危険

河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨に関する情報・土砂災害に関する情報等があります。

■市区町村が出す警戒レベル４避難指示までに必ず避難しましょう　気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等（警戒レベル）				河川や雨等の情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等		防災気象情報（警戒レベル相当情報） 河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報
～～～ ＜警戒レベル４までに必ず避難！＞ ～～～								
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	レベル２ 大雨・土砂災害・氾濫 高潮注意報	2	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1	早期注意情報			

市区町村長は、河川や雨等の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

わからないことがありましたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。

（参考）内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定（令和8年3月）」
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline